

審査員からのコメント

大門高校周辺のチョウ類の分布と食餌植物の研究
～バタフライガーデンづくりに向けて～

本作品は、様々な原因で世界中の昆虫類が減少動向にある現象が国内外に注目されつつある中、チョウ類の分布と食餌植物を調査した結果、多様度の低下を観察し、草刈りや森林伐採で変化した環境を考えられる影響要因として特定できた。観察で終わることなく、環境悪化の対策として新たな取り組みとしてバタフライガーデンを設置した。極めて重要な環境問題の理解と解決の両方に貢献する研究として、研究目的設定、実験の丁寧な説明や理論的構造、いきものと環境のつながりに対しての意識、バタフライガーデンの設置における観察データの分析に基づいた植物選択と今後の取り組み、そしてチョウが人間にもたらす文化的サービスまで含む広い視野などの点で評価が高い。このような総合的な視点や研究全体の優れた包括性から受賞にふさわしい作品であると評価した。

